

いじめ撲滅に関わる標語

12月から1月にかけて市立小・中学校から応募された「いじめ撲滅に関わる標語」について、小・中連携教育推進委員会にて選考しました。(以下敬称略)

◎教育長賞

いじめいや! 心にきずは つけちゃだめ

【小平第五小学校 二年 本 穂乃香】

見ないふり しない勇気を 集めよう

【小平第一小学校 四年 濱田 菜音子】

声をかけ 心のつながり 固結び

【小平第六中学校 一年 伊佐早 祐大】

◎小・中連携教育推進委員会賞

おもいやる きもちがつくる えがおのわ

【小平第七小学校 二年 林 大希】

いじめとは 弱い心の 強いふり

【小平第六小学校 六年 土師 良介】

虐めない 虐めさせない 環境を

【小平第三中学校 二年 飯野 まどか】

平成25年度 小平市教育研究発表会

2月5日(水)小平第一中学校の体育館にて、小平市教育研究発表会を開催しました。

発表会の内容は次のとおりです。

◆服事故再発防止に向けた取組等

服事故再発防止プロジェクトチームより、これまで取り組んできた内容や研修会、各学校における取組等についての最終報告がありました。(下段記事参照)

◆こだいらの小・中連携教育

今年度の小平市の小・中連携教育の概要や、教員向けアンケート及び児童・生徒向けアンケートの分析結果についての発表、また、中学校区ごとに、特色ある取組について紹介がありました。

◆特色ある教育活動

① 防災に関わる取組 小平第四小学校より、消防署との連携による、児童がAEDの使い方

小平第二中学校より、主体的に生徒が学ぶ授業づくりに向け、4人組



〈指導課〉

いじめ撲滅に関わるポスター

「いじめ撲滅に関わるポスター」を中学生を対象に募集しました。応募された作品を一つ一つ見ながら、小・中連携教育推進委員会にて選考しました。(以下敬称略)

◎教育長賞



【小平第五中学校 二年 辻 菜々々】 ※応募いただいたすべての「いじめ撲滅」に関するポスターを、3月14日(金)28日(金)の期間、小平市役所1階ロビーにて展示する予定です。

こだいらの小・中連携 (第7回) 「いじめ撲滅に関わる標語・ポスター」の選考結果

平成24年度から市内のすべての小・中学校で取組を開始した「小・中連携教育」の活動内容について、今回は「いじめ撲滅に関わる標語・ポスター」の選考結果をお知らせします。

平成25年度児童・生徒の学力向上を図るための調査(東京都教育委員会)結果の概要

東京都教育委員会では、子どもたち一人一人に確かな学力の定着を図ることと、教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善・充実に生かすことを目的に、公立小学校第5学年、公立中学校第2学年を対象に、毎年調査を実施しています。今年度は、7月4日に実施しました。その結果をお知らせします。

◆教科に関する調査結果 (学習指導要領に関する内容と読み解く力に関する内容の平均)

Table with 4 columns: 教科名 (Subject), 小平市 (Seihei City), 東京都 (Tokyo), and 平均正答率 (Average Correct Answer Rate). Rows include subjects like 国語 (Language), 社会 (Social Studies), 算数 (Mathematics), 理科 (Science), and 英語 (English) for both elementary and middle schools.

注) 表中の数値は平均正答率を表す。(単位: %)

平均正答率 (全教科) 東京都<小平市

平均正答率 (社会科以外) 東京都<小平市

① 学習指導要領に関する内容

小学校では、全ての教科において、東京都の平均正答率を上回っている。

② 読み解く力に関する内容 (3つの観点)

- 情報と正確に取り出す力
比較・関連付けて読み取る力
解決する力

小学校では、算数科は、右の3つの観点において東京都の平均正答率を下回っているが、他の教科については、東京都の平均正答率を上回っている。

◆学習に関する意識調査

「複数の情報を比べたり、結び付けたらしている」「調べて分かったことや考えたことを自分なりにまとめている」「自分の考えを整理し分かりやすく説明している」と答えた児童・生徒の平均正答率が高い。

調査結果より、学力向上には、多くの情報を比較したり、情報の結び付きを考えたりしながら、自分なりの考えをまとめ、相手に分かるように説明することを日常的に行うことが必要であると考えられます。

小平市では、この調査結果を授業改善および本市における学力向上のための施策を充実させるために生かしていきます。また、子どもたちの学力向上のために、ご家庭との連携も大切にしながら、課題の解決に向けて取り組んでいきます。

〈指導課〉

信頼される学校を目指して 服事故再発防止の取組 (第4回)

今回は2月5日の小平市教育研究発表会で行った「服事故再発防止プロジェクト最終報告」の中、「服事故防止に向けた小・中学校の特色的な取組」について紹介します。

- セクシユアル・ハラスメント及びわいせつ行為の防止に向けた取組
相談窓口の設置
校内の死角になる場所の確認と週番による毎日の点検
校務分掌にセクシユアル・ハラスメント相談窓口を位置付け、いつでも教職員が相談できる体制を整えています。また、校内の死角になる場所の確認と週番の教員による校内点検を行い、セクシユアル・ハラスメント等の未然防止を行っている学校もあります。



〈保管場所の工夫〉

◆個人情報紛失・流出の防止に向けた取組

- 机上整理の励行
保管場所の工夫
机上整理日を設定し、定期的に机上整理を行うとともに、デジタルカメラ等の保管場所を見えやすい場所に設置し、「誰が」「いつ」「いくつ」持ち出しているかなどが分かるようにしている学校もあります。

◆会計事故の防止に向けた取組

- 管理職・事務職員等による定期的な金庫の点検
部活動顧問会において、部費等の適切な取扱いの周知徹底
管理職・事務職員等が定期的に金庫を点検し、金庫に余分な現金を保管しないよう指導するとともに、中学校では、部活動顧問会において、部費等の適切な取扱いの周知徹底を行っています。

◆体罰、不適切な指導・言動の防止に向けた取組

- 学校独自のアンガーマネジメント講演会の開催
部活動時の校内巡回
教育委員会で開催した、怒りをコントロールするスキルを学ぶアンガーマネジメント研修会とは別に、独自に児童・保護者・教職員向けのアンガーマネジメント講演会を開催した学校もあります。また、中学校では、部活動の実施時に管理職が校内を巡回し、体罰、不適切な指導・言動の防止に努めている学校もあります。



〈アンガーマネジメント講演会〉